

認知症とともに生きる

東近江介護サービス事業者協議会 令和六年度 全体研修会

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って安心して暮らしていくことができるよう、一人ひとり誰もが個人を尊重し、支え合う共生社会の実現に向けて、本年一月一日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。今回は、若年性認知症の当事者である、下坂厚氏をお招きし、認知症と診断されてからのような日々を過ごしてきたか、どのようにして認知症と向き合ってきたかなど、「自分らしく生きる」ことについてお話しいただきます。認知症基本法の施行を機に、当事者や支援者の視点から理解を深めていただけるよう、皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2024年12月10日(火) 14:00~16:30(受付 13:30)

場所 能登川コミュニティセンター ホール 東近江市躰光寺町 262 番地

講師 下坂 厚 氏 (写真家 若年性認知症当事者)

1973年6月生まれ。大手鮮魚店で勤務の後、友人と会社を立ち上げる。46歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断を受ける。病気が発覚後、絶望を感じ仲間に迷惑をかけたくない思いから会社を退職。認知症初期集中支援チームを通じて西院デイサービスを紹介され、ケアワーカーとして正職員で勤務。現在は、業務委託に働き方を変え、同法人本部で写真のスキルを活かして広報を担当。写真家として、認知症当事者としての活動をメインに活躍中。



申込方法 別紙申込書にて12月3日(火)までにFAX等にてお申し込みください。

参加対象 介護事業所経営管理者、チームリーダー層、テーマに興味のある方

定員 100名(先着順)、参加費 無料

お問合せ 東近江介護サービス事業者協議会事務局 川嶋(東近江市社会福祉協議会内)

電話 0748-24-2940 FAX0748-20-0543 メール eomishakyo-zaitakufukushika@e-omi.ne.jp